

【テントの設営法】



① 後方にあるフックを外し



② 片手でポンと上へ押し上げるだけ。これで車上泊の準備完了!

【テントの撤収法】



① 黄色いロープでルーフ部を引っ張り下ろし、



② はみ出たテントの布地を内部に収め、フックをかければ終了。これだけですぐに釣り場へ行ける! 収納時の厚みはわずか30cmほど。内部にサオなどを入れておき、ルーフボックスとして使用することも可能

コロンブスの問合先
ZIFER日本総代理店: ジファージャパン

<http://www.ziferjapan.com>

編集部員Hは身長171cm。足を伸ばしてもぶつかることなく、快適に眠ることができる



設営も撤収もワンタッチ

自家用車は1家に1台。それが日本の現実だ。釣り人には大型RV車が入ら

り、オートキャンプ場を利用するにむなら、オートキャンプ場を利用することになるわけだが、ハイシーズンには予約も困難なほど混雑しているし、必ずしも釣り場に近いわけでもない。

集合場所あるいは仮眠所にして活用している釣り人も多いだろう。実際、キャンピングカーなどのオートキャンパーも利用しているが車外にテーブルを出したり、サイドオーニングを広げたりするのはご法度。仮眠を取るにしても、夏にエンジン掛けっぱなしにするのはマナー違反だし、最悪の場合、バッテリーが上がってしまいかねない。つまり、オートキャンプを楽

なものなら家族の誰かを置いていかなければならない羽目になるし、そもそも

長期休暇が義務付けられたバカンス大国イタリア。とはいえ国土面積は日本の約80%に過ぎず、人口だって6000万人近くもいるから交通事情や駐車問題が推して知るべし。地平線の彼方に大型キャンピングカーで……というわけにはいかないのである。

利便性からセダンやクーペにこだわる人も多い。そのいずれの車種でも、車による快適な釣り旅が堪能できるのが、イタリアのアウトドアメーカー「ZIFER」社が手がけた「コロンプス」である。

クルーザーボックスや人数分のシェルフやら釣り具を満載した車内には、もはや寝られるスペースなど存在しない。さらに、テントなどを詰め込もう

なら車の上に置けばいい。まさにコロンブスの卵的な発想だが、これが実際に適している。

セダンやクーペのトランクには、テント類まで収納できるかどうか……。そして前述の道の駅。テントを張ることはできないから車中泊になるわけだが、車内には荷物が満載だから、これらをすべて車外に出さないといけない。荷物

が余裕で足を伸ばせて寛げる。このあ

しかし、この「コロンプス」なら、車内の荷物はそのままに、留め金を外せばものの数秒で快適なテントが車上に現われるという寸法。カップルサイズ、ミディアムサイズ、ファミリーサイズ

の3種類があるが、最も小さいカップルサイズでも身長180cmの大人2人が余裕で足を伸ばせて寛げる。このあたりは、さすがイタリア規格である。とかく、釣り人の車の中は雑然として整理して就寝スペースを確保することは至難の業だ。

普通乗用車にも取り付け可能だから、細道の先のポイントの目の前で車上泊できるのがうれしい。もうひとつ、旅人にありがたい施設が日帰り温泉。こちらも温泉地ならば日本中どこにでもあるし、日帰り入浴が可能なホテルや旅館などもずいぶん増えた。ロングドライブで疲れた身体を温泉で癒し、汗を流してサッパリ。キャンピングカーのシャワーなんて目



上/「コロンプス」はルーフキャリアに専用の金具で取り付けられるだけと、セッティングはとても簡単
左上/「いやあ、いちどこのポーズやってみたかったんですよ。これも車上泊のおかげですかね」
翌日、稲生沢川でサオをだしたHの釣果はいかに!? 詳しくはP104~105をご覧ください
左下/3方向に設けられたウィンドーはすべてメッシュ地の防虫ネットが付いている。暑い熱帯夜もこれなら快眠間違いなし

